

第22回あいの風とやま鉄道利用促進協議会（書面開催）に際していただいたご意見及びあいの風とやま鉄道の回答について

委員		ご意見	あいの風とやま鉄道の回答
役職	氏名		
黒部市長	武隈 義一	<p>・あいの風サイクルトレインの自転車を持ち込める駅については、安全性に問題がある駅を除いて、全ての駅としてはどうか。輸行ができる駅とできない駅があるのは利用者にとって紛らわしいと考えられる。推薦箇所があればよいが、どの駅で自転車を持ち込むかについては、利用者が決めることができるとよいと考える。</p>	<p>・サイクルトレインの乗降駅については、利用者の安全性の観点から無人でなく、かつ、こ線橋を渡らないで1番線ホームから乗降が可能であること、また、富山湾岸サイクリングコースを十分堪能いただけることなどを総合的に検討したうえで設定しておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>
富山県商工会議所連合会 会長	庵 栄伸	<p>・2023年4月～11月の取組みについては、よく考えて行動に移されていること、頭が下がる思いです。</p> <p>・2023年度決算見込みについては、納税してまでの補助は再考、対応が必要と考えます。</p> <p>・安全に関する取組みについて、皆様本当にご苦労様です。但し、エラー報告がなされていないとガバナンス上、課題があると考えるのが妥当か悩みます。</p> <p>・2024年春ダイヤ改正の考え方については、工夫いただき感謝です。これに伴う人員増／コスト増あれば併せて報告いただくと皆の理解が進むと存じます。</p>	<p>・2023年度決算見込みでは、利用者数の回復や運賃改定の実施により料金収入が約3億円増加し、経常損益で12百万円の黒字の見込みです。このため、乗継割引の実施に伴う減収補填及び快速列車の増便に伴う所要経費の増分にかかる県経営安定基金からの補助(予算61百万円)はいただかないこととし、中間車両の新造の財源として活用したいと考えております。</p> <p>一方、県及び沿線市町からの補助については、燃料費が2019年度や2020年度と比べると1.7～1.8億円ほど増加となる見込みであり、この負担増相当に対し支援をいただくものです。</p> <p>このようなことから、税引前当期利益の約3億円は主に料金収入増によるものであり、この結果、税負担後の最終損益は1億円程度の黒字を見込んでおりますが、これを累積欠損(2022年度末約1.2億円)の解消に充てたいと考えております。</p> <p>・安全管理に関しましては、(資料には記載されておりませんが、)事象発生時は速やかに対処するとともに、事後において原因把握と対策を実施しております。また、日ごろから安全管理の徹底のため、毎月、社長をトップとした安全推進委員会を開催し、前月に発生した事故、輸送障害、ヒューマンエラーの報告について意見交換を行い、必要な事項を関係箇所に水平展開するなど取り組んでおります。引き続き、さらなる安全の向上に向け一丸となって取り組んでまいります。</p> <p>・ダイヤ改正については、現有車両や人員の中で工夫しながら実施できるものとして検討しましたが、一方で増便や増車によって貨物線路使用料の減少が見込まれます。貨物調整金制度については、旅客確保のための経営努力が収支の改善に反映されないなどの課題があり、県から国に改善を要望していただいているところです。</p>
富山県婦人会会長	岩田 繁子	<p>・事故、輸送障害発生状況は少なく安全運転につとめていただいている事に感謝します。いま気候変動と言われる中自然災害が多く発生しています。今後も異常時対応に万全を期して運行に努めていただきたくお願い致します。</p> <p>・「城端線に乗ろう」と声を出して来た時もありましたが沿線どこの市も少子高齢化、人口減少が進んでいます。この様な中で無くてはならない城端線への関わり方を住民一人一人が考えて行かねばと思います。</p>	<p>・ゲリラ豪雨、台風等による水害や雪害への対応として、弊社では気象情報の収集とともに沿線の状況がリアルタイムに確認できるシステムの整備や、年度計画で災害対策予算を計上し、計画的に整備を進めているほか、異常時対応訓練の実施など、ハード・ソフトの面から取り組んでおります。</p> <p>本年度は、新たに投排雪保守用車2号機も導入し雪害対応の強化を図ったところです。今後も地震をはじめとする異常時対応に万全を期してまいります。</p>

委員		ご意見	あいの風とやま鉄道の回答
役職	氏名		
富山県 PTA 連合会参与	勝田 民	<p>・2024 年春のダイヤ改正により、県内での鉄道移動力が増えて利便性が増すことは、高校生はじめ県民にとって非常にありがたく、利用を促進する上で有効であると思います。その一方、以前も述べましたが、ワンマンカーが増えることはこのご時世安全面から不安を感じるので、防犯カメラの設置拡大に合わせて、いざという時に乗客も対応できる、分かりやすいマニュアルを、例えば SNS を活用して広めていただきたいです。</p>	<p>・2024 年春のダイヤ改正でワンマン運転本数が増加しておりますが、通勤・通学時間帯においては引き続き車掌が乗務することとしております。また、車内で痴漢などの犯罪行為に遭われたり、目撃されたときや、急病のお客様がいらっしゃる際には、速やかに乗務員にお知らせいただくこと、さらに、緊急を要する場合には「車内非常ボタン」を押していただくよう、車掌による放送や自動放送によりお客様にご案内しております。お客様に安心してご利用いただけるよう、引き続き、緊急時の対応について、放送によるご案内を行うとともに、弊社ホームページや SNS を活用して周知してまいります。</p>
富山県自治会連合会会長	北岡 勝	<p>・県民の願いは「安全性の確保」です。御職におかれましては、一層の取り組みの強化を図られますよう希望します。</p> <p>・パターンダイヤの実施は、県民にとって分かりやすく便利になりました。</p>	<p>・ゲリラ豪雨、台風等による水害や雪害への対応としては、弊社では、気象情報の収集とともに沿線の状況がリアルタイムに確認できるシステムの整備や、年度計画で災害対策予算を計上し、計画的に整備を進めているほか、異常時対応訓練の実施など、ハード・ソフトの面から取り組んでおります。</p> <p>本年度は、新たに投排雪保守用車 2 号機も導入し雪害対応の強化を図ったところです。今後も地震をはじめとする異常時対応に万全を期してまいります。</p> <p>・パターンダイヤにつきましては、利用者に分かりやすく、覚えやすいことから利便性の向上が図られるものと考えており、今後のダイヤ改正において、適用区間や時間帯を拡大できないか検討してまいりたいと考えております。</p>
富山県高等学校 PTA 連合会会長	松山 朋朗	<p>・通学の足として、安全に快適に運行していただきありがとうございます。</p> <p>・市町村と連携し、駅周辺の環境整備にも期待します。</p>	<p>・これまでも、パーク＆ライド用駐車場の整備などに取り組んでいるほか、2024 年 3 月には、新たに呉羽駅北口改札が供用開始される予定です。</p> <p>今後も多くの県民の身近な生活路線として地元の駅周辺整備への協力、沿線自治体と連携したパーク＆ライドの推進などに取り組んでまいります。</p>
(一社)朝日町観光協会	上澤 聖子	<p>・安全管理、利便性の向上に常に真摯に取り組んでおられて、いつも、安心・便利に利用させていただけてありがたいです。</p>	<p>・鉄道経営の基本である安全性の確保を最優先とし、多くの県民の身近な生活路線として利用実態に即した利便性の確保に取り組んでまいります。</p>